

行事を成長につなげる 前・中・後 3ステップシート

体育祭・合唱コン・修学旅行・職場体験……どの行事でも使える1枚

最初に、1つだけ

行事は手段で、成長が目的です。

優勝や成功は「目標」。目的は「この行事で、生徒が成長すること」。

目標を本気で追うからこそ、その途中で成長が生まれます。この2つを分けて語るところから始めます。

使い方

1. 行事が決まったら、このシートを1枚用意して、行事名と日付を書く。
2. 事前の3つ（目的・理想・行動）を、学級で話し合って埋める。担任が先に書かない。
3. 当日の朝に使う語りを1つ選ぶ。行事のあと、ふり返りの4つを通信に書く。

行事名〔 〕／日付〔 〕

事前 ―― 目的 → 理想 → 行動

【1 目的】 この行事は、自分たちが何を得るためにあるのか

【2 理想】 どんな姿でこの行事を終えたいか（学級として／自分として）

【3 行動】 その理想に近づくために、明日なにをするか（だれが見ても分かる行動で）

行動の例……説明が始まったら「静かにしよう」と声をかける／移動のときは「急いで行こう」と言う／自分のできることより少しだけがんばる

行事の前に、日常を見る

行事は日常の延長です。日常でできないことは、行事の当日もできません。

次のうち、いまの学級で崩れているものはありますか。行事の準備は、ここを整えることから始まっています。

- ☐ 給食準備の動き
- ☐ 提出物の出し方
- ☐ 朝のあいさつ
- ☐ 掃除の取り組み
- ☐ 日記の書き方

当日 ―― 場面に合う語りを1つだけ

場面	使う語り
行事の朝・全体	行事は、あなたたちを成長させるためにある
本気を引き出したいとき	本気の本気／打つ手は無限
慌ただしいとき	忙しいときほど、思いやりと慎重さ
本番前の緊張	不安はエネルギーになる
合唱コンの本番前	本気が、感動を与える

（長く話さない。生徒の心はもう本番に向いています）

学年で変える、行事の重点

- ・1年生……先輩の姿から学ぶ。してもらったことに「ありがとう」を返す。失敗してもいいから挑戦する。
- ・2年生……与える側に立つ。1年生を引っ張り、3年生を支える。学級の外（自然教室・職場体験）で力を試す。
- ・3年生……すべての行事に「最後」がつく。学校の先頭に立ち、後輩に背中を残す。

事後 ―― ふり返りは「反省会」ではなく「次への蓄積」

行事のあと、通信でこの4つを書きます。

【1 よかった行動】だれの、どんな行動がよかったか（具体的に）

【2 意味】その行動には、どんな意味があったか

【3 学級にとって】学級にとって、この行事は何だったか

【4 つなぐ】これから、日常や次の行事に何をつなげるか

うまくいかなかったことも、次の成長の素材になります。行事は、やって終わりではありません。